

## 第1回庄原市長期総合計画審議会 会議録（摘録）

1. 開催日時 令和6年12月9日（月） 10：00～
2. 開催場所 庄原市役所本庁舎3階 防災対策室
3. 出席委員 上水流 久彦 委員 ・ 児島 茂春 委員 ・ 名越 千晴 委員  
板倉 一弥 委員 ・ 伊藤 郁夫 委員 ・ 土井 幹雄 委員  
上田 正之 委員 ・ 大原 一展 委員 ・ 八野 祐次 委員  
岡崎 輝子 委員 ・ 今田 貴子 委員 ・ 山藤 章博 委員  
川崎 弘子 委員 ・ 廣澤 伸高 委員 ・ 東 泰治 委員  
織田 みね子 委員 ・ 表 良則 委員 ・ 福元 奈津 委員  
垣内 絵理 委員 ・ 水戸 美代子 委員
4. 欠席委員 林 充 委員 ・ 田邊 良三 委員 ・ 島津 宏 委員
5. 出席職員 庄原市長 木山 耕三  
企画振興部長 加藤 武徳  
企画振興部企画課長 田部 伸宏  
企画課企画調整係長 安藤 秀明  
企画課企画調整係 西村 陸斗
6. 傍聴者 2名
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

## 第1回 庄原市長期総合計画審議会 次第

令和6年12月9日（月）10：00～  
庄原市役所 本庁舎3階 防災対策室

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 会長及び副会長の選出
5. 第3期庄原市長期総合計画について（諮問）
6. 会長挨拶
7. 第3期庄原市長期総合計画の策定について（説明）
8. 議事
  - ・市民、中高生、事業者向けアンケートの実施について
  - ・その他
9. 閉会

## 会議経過

### (1) 開会

### (2) 委嘱状交付

委嘱状は交付せず机上配布。各委員紹介。

### (3) 市長挨拶

平成 17 年 3 月の新・庄原市誕生以来、まもなく 20 年の節目の年を迎えようとしている。この間、本市行政における最上位計画である「長期総合計画」については、2 期にわたって市民の皆さんの参画の下、地域の「まちづくり」の指針として策定をしてきた。現行の第 2 期計画については、「美しく輝く里山共生都市」を将来像として掲げ、最重要課題とした人口減少をはじめとする多くの課題に向き合い、地域産業の振興、暮らしの安心の確保、にぎわいと活力の創出など、様々な施策・事業について取組を進めている。そうした地道な積み重ねにより、近年では人口移動における社会減が改善傾向を示すなど、明るい兆しも見えてきている。

一方で、我が国の少子高齢化の波は年を追うごとに加速の一途をたどっており、都市圏・地方に関わらず、地域活力の衰退や経済活動の縮小、深刻な労働力不足など、社会構造全体に多大な影響を及ぼしている。

こうした中、この度策定に着手する第 3 期計画は、10 年先の地域の未来を思い描き、「まちづくり」における基本理念やめざす将来像を市民の皆さんと共有して、活力あるふるさとを次世代に引き継ぐための羅針盤となると考えている。

委員の皆様には、これまで各分野で培ってこられた知識や経験を活かし、忌憚のないご意見・ご提案をいただきながら、新たな計画策定、また今後の「まちづくり」への一層のお力添えをお願いしたい。

### (4) 会長及び副会長の選出

事務局提案により、上水流 久彦 委員を会長に選出

田邊 良三 委員を副会長に選出

### (5) 第 2 期庄原市長期総合計画の策定について（諮問）

木山市長から上水流会長に諮問書手交

### (6) 会長挨拶

この 10 年の間に、更なる人口減少が進行し、日本全国で高齢化が進んでいるという

状況がある。一方で DX と呼ばれるような形で、デジタル技術の進展・活用により、時代の潮流が大きく変わりつつある。そういう状況も踏まえながら、10年後の庄原市が市民にとって住みやすい社会、住みやすい地域にするためにどうすればいいのか、様々な立場の委員の皆さまと一緒に、10年後の未来を創造していけるような計画を作っていきたい。

(7) 第3期庄原市長期総合計画の策定について

資料により事務局が説明

(8) 議事

- ・市民、中高生、事業者向けアンケートの実施について

資料により事務局が説明

会 長：これまでの総合計画策定時のアンケート調査と今回のアンケートにおける変更点があれば説明いただきたい。

事務局：前回との違いについて、まず事業者アンケートを初めて実施することとしている。また、内容については、幸福度、所謂「ウェルビーイング」の考え方を取り入れ、ウェルビーイングをどう捉えるかについて、単なる経済的な幸せに留まらず、地域とのつながりや自然環境、社会全体の幸福度など、自分が自分らしく、人生を歩んでいけるかということについて、住民アンケートの数値によって客観的、主観的に地域の幸福度を把握するため、今回こういう指標、問いかけをしたいと考えている。

また、高校生アンケートについては、これまで以上に高校生が感じていることを詳しく把握したいと考え、設問を整理している。市内の高校生は、一旦就職や進学で庄原から出ていく人が多いのが実態であり、そのような方々が10年どう庄原市とつながっていくかを考えた時に、職業や進学先が庄原市に戻ってくるきっかけになるか、どこに何を築いていけば、将来の帰郷や関係人口のつながるかといったところを、より細かく設定している。

委 員：（中高生の定住意向に対する設問について）中高生のいろんなアイデアを、市にとっても参考になると思うので、「庄原市に住みたい」という選択肢以外にも、住む以外での関わり方、サポートについてのアイデアも記述できる欄があっても良いのではないかと。

また、中高生アンケートについて、通信制高校や市外中学校・高校に通う学生を対象とすることはできないかと。

事務局：定住意向に関する設問について、既存の設問で回答いただけるよう整理するか、選択肢を新たに追加するか、一度検討して整理する。

また、市外の高校等に通う学生を対象としたアンケートについては、別途行政文書や広報誌等で周知ができるよう整理する。

委員：第2期計画の振り返りと評価を行い、第3期計画に反映することが重要ではないか。また、実行者である市職員を対象としたアンケート調査を行うことはできないのか。

会長：その点について、2点提案がある。

1つは、第2回審議会を行う際に、アンケート結果が出たうえで、第2期計画の振り返りがあるため、その中で、行政側として十分だった点、不十分だった点についての意見を整理できれば良いと思う。

2つ目に、市職員にアンケートを実施することについては、この場で中身まで決められないので、次回の会議での検討事項とし、市でも、この提案を整理していただければと思う。

事務局：1点目の提案について、第2期計画を策定したときも、第1期の振り返りは行っており、第2期計画に対する実績・評価は、当然必要なものであると考えている。

計画策定支援事業者からも、庁内の振り返りをしっかりと行うべきとの意見があり、目標を達成しているもの・達成していないものを整理し、達成していないものについては内的・外的要因の分析を行い、達成したものについても、10年前に設定した指標が現状に即しているとは限らないため、自己評価が必要だと考えている。

2点目について、アンケートという形になるか確約できないが、職員向けのヒアリングを実施する予定としており、その中で評価をしていきたいと考えている。

その結果について、第2回、もしくは第3回の審議会において、委員の皆様お示しし、ご意見をいただければと考えている。

委員：無作為抽出のため、かなりの高齢者がアンケート対象者となることも想定されるため、高齢者にも優しいアンケートにしてほしい。

事務局：分かりやすくなるよう、必要に応じて記載を修正していく。

委員：広報しょうばら等で市民の皆さんに見てもらうことにより、調査対象者以外の方も長期総合計画について認識すると思う。そういう投げかけをすれば、総合計画は皆さんのものであるという意識が高まり、回収率も上がるのではないか。

事務局：広報しょうばら 12月号に特集を出しているほか、告知放送や SNS 等で告知活動も行っている。アンケート調査が来ている、来ていないというよりも、知ってもらうことが大切だと思っているので、柔軟に対応していきたい。

会長：アンケートについて、デジタル環境に関する項目が不足しているように感じる。もう少し具体的な設問があっても良いのではないか。

また、本市には大学のキャンパスがあるという特徴があり、事業者の方には大学との連携について、市民、中高生には、庄原にキャンパスがある意義などについて聞いてほしい。

事務局：項目を整理し、設問を追加する。

委員：貧困とまでは言えないが、経済的な問題について、10年前に比べ経済的に困っている世帯が増えていると思うので、そのような設問は設定できないか。

事務局：項目を整理し、設問を追加する。

委員：市民ワークショップについて詳細を聞きたい。

事務局：今年度中に第1回目のワークショップを開催したいと考えているので、第2回の審議会で説明できればと思う。

(9) その他（次回開催日ほか）

事務局：次回は3月中旬を予定している。希望の曜日等があれば可能な限り調整する。

会長：必要な資料等があれば、個別に事務局へ伝えてほしい。

(10) 閉会